

一般項目	最大定格		端子間容量(pF)/容量比			備考	ピン接続図		
	項目	定格値	電圧(V)	最小	標準			最大	
●HV K 89 用途: VHF/UHF TV チューナ AFC 用	日立	V_R (V)	32	2	10.5	16.0	$r_s \leq 1.3 \Omega$ ($C=12.5\text{pF}$, $f=50\text{MHz}$)		
		T_j (°C)	150	5		5.7			
				10	3.3				5.7
				2.0/10.0	2.5				3.0
●HVM 11 用途: UHF/SHF TV チューナ電子同調用 特長: 低端子間容量で, S/N が良好。	日立	V_R (V)	32	1	3.6	5.6	$r_s \leq 1.5 \Omega$ ($V_R=2\text{V}$, $f=160\text{MHz}$)		
		P (mW)	150	15		0.9			
		T_j (°C)	125	30	0.5				0.9
				1.0/30.0	4.0				
●HVM 15 用途: UHF/SHF TV チューナ電子同調用 特長: 低端子間容量で, S/N が良好。	日立	V_R (V)	32	1	3.6	5.6	$r_s \leq 1.5 \Omega$ ($V_R=2\text{V}$, $f=100\text{MHz}$) (2個入り)		
		P (mW)	150	15		0.9			
		T_j (°C)	125	30	0.5				0.9
				1.0/30.0	4.0				
●HVM 16 用途: FM チューナ電子同調用 特長: 8V 作動であるため, 小電源製品に最適。 ツインダイオード。	日立	V_R (V)	14	2	43.0	48.1	$Q=75$ (最小, $V_R=2\text{V}$, $f=100\text{MHz}$)		
		P (mW)	150	4		27.0			
		T_j (°C)	125	8		27.0			
				2.0/8.0	1.6				1.8
●HVM 25 用途: FM チューナ用。 特長: 容量変化比が大きく直線性が良い。 低電圧で使用できる。	日立	V_R (V)	16	3	36.0	45.0	$Q=60$ min ($V_R=3\text{V}$, $f=100\text{MHz}$) 組内容量偏差: 3% max ($V_R=3\sim 8\text{V}$, $f=1\text{MHz}$)		
		T_j (°C)	125	8	12.0				
				3.0/ 8.0	2.5				
●HVM 27WK 用途: FM チューナ用。 特長: 容量変化比が大きい。C-V 特性の直線線が良い。 直列抵抗が小さい ($r_s \leq 0.4 \Omega$)。	日立	V_R (V)	20	1	52.0	62.0	$r_s: 0.4 \Omega$ max ($V_R=2\text{V}$, $f=100\text{MHz}$) 組内容量偏差: 3% max ($V_R=1\sim 8\text{V}$, $f=1\text{MHz}$)		
		T_j (°C)	125	5	43.0	28.0			
				8	24.0	28.0			
				1.0/ 8.0	1.8				
●HVM 306 用途: 入力フィルタ (T型) 用バリキャップ。 特長: 容量変化比が大きい。 直列抵抗が小さい ($r_s \leq 0.75 \Omega$)。	日立	V_R (V)	30	2	29.4	34.3	高周波順抵抗 $r_F: 0.75 \Omega$ max ($C=9\text{pF}$, $f=470\text{MHz}$)		
		T_j (°C)	125	25	2.7				
				2.0/25.0	10.0				
●HVR 100 用途: AM チューナ電子同調用 特長: 容量変化比が大きく, 直線性が良い。 低電圧で使用できる。	日立	V_R (V)	15	1	421.5	524.5	$Q=200$ (最小, $V_R=1\text{V}$, $f=1\text{MHz}$) グルーピング数: 3n (n は整数)		
		T_j (°C)	125	5	73.2	28.2			
				8	20.4	28.2			
				1.0/8.0	16.0				